

そんなり通信 vol.119



地域活動支援センターMネット 広報誌 R1年8月号
発行者：社会福祉法人Mネット東遠 地域活動支援センターMネット
菊川会場：菊川市本所 1407-4 TEL0537-28-9716
小笠会場：菊川市赤土 1660-1 TEL 0537-73-1020 FAX0537-73-1034

7月のサロン活動

☆7月26日（金）【ヤマハコミュニケーションプラザへ出掛けよう♪】



磐田市のヤマハ発動機株式会社にあるコミュニケーションプラザへ出掛けました。館内にはこれまでヤマハ発動機で製造した二輪車はもちろん、ボートやスノーモービル、ヘリコプター、産業用ロボットなど多種多様な製品が展示してありました。大型バイクに乗り、記念撮影が出来たり、シュミレーターにより、エンジン音を体験できたりと、バイク好きの方はとっても貴重な経験となったようでした。あまりバイクに興味のなかった方でもバイクに乗る体験が出来たり、迫力あるエンジン音を聞いたりすることで、今までよりバイクの魅力を感じたのではないのでしょうか。暑い時期は無料で涼しい場所に出掛けるのが一番ですね♪笑



あしたばの会お楽しみ会に参加しました

7月6日（土）プラザけやきで菊川市精神保健福祉ボランティア『あしたばの会』によるお楽しみ会がおこなわれました。

お楽しみ会は年に2回開催され、グループ対抗でおこなう文字合わせゲームからはじまり、みんなが一番楽しみにしているお楽しみランチや、恒例のビンゴ大会などボランティアさんは参加者に喜んでもらえるような企画をたくさん用意しています。ビンゴの景品には日用品やカップラーメンなど生活には欠かせないものが必ずもらえるため、参加者は今日の景品は何か？と期待しています。個性的で元気なボランティアさんが楽しいひと時をつくってくださり、参加者は笑顔で帰っていきます。次回開催は来年の2月に予定しています(^_^♪興味のある方は参加してみてくださいね。



8月のぴあぴあサロンのお知らせ

8月は100円食堂、外出サロンはありません。お間違えの無いようお願いいたします。

次回サロンは9月10日（火）100円食堂（冷やし中華）

9月27日（金）外出サロン（ららぽーと磐田）を予定しています。

詳しくは次号のそんなり通信でお知らせします。

多くの方のご参加お待ちしております！



1人暮らしの障がい者（その2）

Aさんは55歳の女性で、アパートでの1人暮らしを始めて5年目になった。月曜から金曜まで作業所に通っている。1人暮らしを始めたきっかけは、同居している両親が高齢化してきたため自分が自立しなければと一念発起したことである。

とはいうものの掃除や洗濯、家事や食事の仕度など、これまで両親に頼り切っていたためほとんど未経験であった。Aさんの収入は、障害年金と作業所の工賃であった。贅沢は敵である。しかし、アパート代をはじめ電気・ガス・水道料といった具合に、意外と出費が大きい。結局、アパート代と公共料金は両親から援助してもらっている。それでも生活は厳しい。

休日になると、母親がアパートを訪ねてきて、一緒に買い物に出かけている。1人暮らしを始めた頃は、洗濯物をベランダに干すことが出来ず、部屋の中に干していた。何故、そんなことをしたのか今思えば、外に干す勇気がなかったという。ゴミ出しも最初は、両親に手伝ってもらって収集場に持って行っていった。そんな手助けの生活が2年くらい過ぎて、やっと1人で出来るようになったようである。

さて、1人暮らしをしているとご近所さんとの付き合いも出てくる。その一つが地区の祭典である。精神障がい者は、人との交流が苦手である。祭典当日は、アパートの鍵を掛けてじっと静かにして外には出ない。幸いにもこの地域では、アパートの住人に対しては強制して祭典への誘いはないため、そういう点では救われる。

次に出てくるのが防災訓練である。毎年、自治会ごとに行われるが、Aさんはアパート住まいのため、この活動にも声がかからないという。障がい者を意識した地域防災訓練は、具体的には実施されていないのが現状のようである。ほっと胸をなでおろすのであるが、喜んでいいのか疑問が残る。

地域での生活は、障害者が1人暮らしをするにはハードルの高い課題も多く出てくるが、とにかく、ゆっくりと自分のペースで生活をしているから1人暮らしが続いているという。

